



2022年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 ナカニシ

上場取引所 東

コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 0289-64-3380

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

2022年9月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	24,462	6.3	8,129	6.3	9,490	27.8	6,750	25.8
2021年12月期第2四半期	23,014	68.1	7,646	219.6	7,423	198.1	5,366	188.7

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 9,000百万円 (45.4%) 2021年12月期第2四半期 6,191百万円 (366.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	78.52	78.33
2021年12月期第2四半期	61.93	61.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	98,914	89,165	89.9
2021年12月期	94,460	82,919	87.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 88,880百万円 2021年12月期 82,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		17.00		20.00	37.00
2022年12月期		22.00			
2022年12月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当2円00銭

2021年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 特別配当2円00銭

配当予想の修正については、本日(2022年8月9日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,788	2.1	12,606	8.3	13,587	2.6	9,621	4.8	111.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	94,259,400 株	2021年12月期	94,259,400 株
期末自己株式数	2022年12月期2Q	8,573,808 株	2021年12月期	8,094,386 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	85,980,048 株	2021年12月期2Q	86,656,728 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍後の急速な景気回復に伴う需要の増加による物価の上昇や、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー供給の不安などにより、将来の不確実性は増しております。

一方、国内においては、原材料価格の上昇や部品の調達難等により、回復は鈍化しております。

このような事業環境の中、3つの事業全て増収となり、また、営業利益も増益となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、24,462,214千円（前年同期比6.3%増）、営業利益は、8,129,454千円（前年同期比6.3%増）、経常利益は、9,490,143千円（前年同期比27.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6,750,816千円（前年同期比25.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(歯科事業)

歯科事業の売上高については、国内において、前年同期の歯科医院への政府の感染防止対策給付金の交付の影響による需要の増加による反動により減収となり、また、アジアにおいても減収となりましたが、北米で大幅増収となり、また欧州においても増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、20,530,662千円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は、8,669,769千円（前年同期比2.6%増）となりました。

(外科事業)

外科事業の売上高については、アジアで減収となりましたが、国内、北米及び欧州で増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、1,681,197千円（前年同期比24.4%増）、セグメント利益は、885,149千円（前年同期比35.2%増）となりました。

(機工事業)

機工事業の売上高については、アジアで減収となりましたが、国内、北米及び欧州は増収となり、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、2,250,354千円（前年同期比25.7%増）、セグメント利益は、774,127千円（前年同期比17.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、98,914,335千円で、前連結会計年度末に比べ4,453,416千円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が936,130千円、原材料及び貯蔵品が926,809千円並びに建設仮勘定が844,692千円増加したこと等によるものです。

負債の残高は、9,748,950千円で、前連結会計年度末に比べ1,792,495千円減少いたしました。主な要因は、流動負債のその他が1,747,561千円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は、89,165,385千円で、前連結会計年度末に比べ6,245,912千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が5,027,516千円及び為替換算調整勘定が2,687,050千円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下、「資金」という。）は、33,894,220千円で、前連結会計年度末に比べ993,595千円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,805,211千円の収入（前年同期は7,108,837千円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益9,522,712千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額2,900,252千円により資金を支出したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,363,793千円の支出（前年同期は626,001千円の支出）となりました。主な支出は、関係会社株式の取得による支出1,568,387千円及び有形固定資産の取得による支出1,457,281千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,800,225千円の支出（前年同期は1,300,166千円の支出）となりました。主な支出は、配当金の支払額1,722,570千円及び自己株式の取得による支出1,077,655千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,984,340	35,969,202
受取手形及び売掛金	5,348,771	6,284,901
有価証券	1,422,099	1,364,868
金銭の信託	4,341,163	4,280,629
商品及び製品	5,822,666	5,918,559
仕掛品	3,286,853	3,763,211
原材料及び貯蔵品	2,623,642	3,550,451
その他	1,382,650	1,719,187
貸倒引当金	△60,452	△78,861
流動資産合計	60,151,734	62,772,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,431,241	15,609,974
機械装置及び運搬具	7,486,174	7,819,759
工具、器具及び備品	5,205,578	5,507,859
土地	2,033,155	2,130,018
建設仮勘定	962,539	1,807,231
減価償却累計額	△15,825,871	△16,672,360
有形固定資産合計	15,292,817	16,202,483
無形固定資産		
ソフトウェア	377,341	730,320
ソフトウェア仮勘定	320,598	152,078
のれん	108,442	85,098
その他	538,570	509,249
無形固定資産合計	1,344,953	1,476,747
投資その他の資産		
投資有価証券	8,692,157	8,312,339
関係会社株式	4,866,102	5,694,177
保険積立金	2,122,292	2,132,397
退職給付に係る資産	—	2,457
繰延税金資産	940,349	1,189,233
その他	1,051,965	1,133,890
貸倒引当金	△1,452	△1,541
投資その他の資産合計	17,671,414	18,462,954
固定資産合計	34,309,185	36,142,185
資産合計	94,460,919	98,914,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,009,312	1,412,515
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	2,529,830	2,390,619
賞与引当金	909,596	437,648
その他	6,045,854	4,298,292
流動負債合計	10,594,594	8,639,076
固定負債		
退職給付に係る負債	342,260	357,267
繰延税金負債	412,271	563,581
その他	192,319	189,024
固定負債合計	946,851	1,109,873
負債合計	11,541,446	9,748,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,180,482	1,180,482
利益剰余金	84,765,333	89,792,849
自己株式	△6,793,803	△7,871,458
株主資本合計	80,019,961	83,969,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,843,974	1,404,389
為替換算調整勘定	819,197	3,506,248
その他の包括利益累計額合計	2,663,172	4,910,637
新株予約権	232,552	278,685
非支配株主持分	3,786	6,241
純資産合計	82,919,473	89,165,385
負債純資産合計	94,460,919	98,914,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	23,014,252	24,462,214
売上原価	9,099,992	8,978,925
売上総利益	13,914,259	15,483,288
販売費及び一般管理費	6,267,598	7,353,834
営業利益	7,646,660	8,129,454
営業外収益		
受取利息	37,015	35,193
受取配当金	26,441	32,097
金銭の信託運用益	134,427	—
補助金収入	32,133	35,927
持分法による投資利益	199,717	—
為替差益	—	1,480,792
雑収入	55,345	110,914
営業外収益合計	485,080	1,694,925
営業外費用		
支払利息	1,771	774
金銭の信託運用損	—	248,058
支払手数料	—	5,417
持分法による投資損失	—	58,746
為替差損	699,385	—
雑損失	7,257	21,239
営業外費用合計	708,414	334,236
経常利益	7,423,326	9,490,143
特別利益		
固定資産売却益	—	65,888
投資有価証券売却益	17,087	—
特別利益合計	17,087	65,888
特別損失		
固定資産売却損	—	31,826
固定資産除却損	313	1,492
特別損失合計	313	33,319
税金等調整前四半期純利益	7,440,099	9,522,712
法人税、住民税及び事業税	2,253,848	2,741,843
法人税等調整額	△181,241	28,707
法人税等合計	2,072,606	2,770,550
四半期純利益	5,367,493	6,752,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	562	1,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,366,930	6,750,816

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,367,493	6,752,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,036	△439,585
為替換算調整勘定	868,776	2,688,159
その他の包括利益合計	823,740	2,248,573
四半期包括利益	6,191,233	9,000,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,190,356	8,998,281
非支配株主に係る四半期包括利益	876	2,454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,440,099	9,522,712
減価償却費	853,028	918,407
のれん償却額	27,302	27,302
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,488	12,254
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,000	△471,948
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,065	487
受取利息及び受取配当金	△63,457	△67,290
支払利息	1,771	774
持分法による投資損益 (△は益)	△199,717	58,746
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17,087	—
固定資産除却損	313	1,492
固定資産売却損益 (△は益)	—	△34,061
金銭の信託運用損益 (△は益)	△134,427	248,058
補助金収入	△32,133	△35,927
売上債権の増減額 (△は増加)	△450,832	△465,159
棚卸資産の増減額 (△は増加)	321,737	△807,590
仕入債務の増減額 (△は減少)	157,058	△54,308
為替差損益 (△は益)	△761,239	△2,605,381
その他	1,800,793	△720,974
小計	8,938,655	5,527,595
利息及び配当金の受取額	166,918	142,747
利息の支払額	△1,802	△804
法人税等の支払額	△2,027,066	△2,900,252
補助金の受取額	32,133	35,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,108,837	2,805,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△336,255	△1,457,281
有形固定資産の売却による収入	—	61,820
無形固定資産の取得による支出	△109,966	△284,504
投資有価証券の取得による支出	△444,340	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	551,101	726,707
関係会社株式の取得による支出	—	△1,568,387
定期預金の預入による支出	△2,888,263	△3,006,312
定期預金の払戻による収入	2,603,446	2,167,067
保険積立金の積立による支出	△6,741	△6,741
その他	5,018	3,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△626,001	△3,363,793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,300,074	△1,722,570
自己株式の取得による支出	△92	△1,077,655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,300,166	△2,800,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	877,422	2,365,212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,060,092	△993,595
現金及び現金同等物の期首残高	30,044,771	34,887,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,104,863	33,894,220

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

これにより、販売奨励金等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によりおりましたが、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、第2四半期連結累計期間の売上高は46,408千円減少し、販売費及び一般管理費は46,408千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に対する影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科事業	外科事業	機工事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,872,108	1,351,441	1,790,702	23,014,252	—	23,014,252
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,872,108	1,351,441	1,790,702	23,014,252	—	23,014,252
セグメント利益	8,452,160	654,795	660,201	9,767,158	△2,120,497	7,646,660

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科事業	外科事業	機工事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,530,662	1,681,197	2,250,354	24,462,214	—	24,462,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,530,662	1,681,197	2,250,354	24,462,214	—	24,462,214
セグメント利益	8,669,769	885,149	774,127	10,329,046	△2,199,591	8,129,454

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「歯科製品関連事業」に含まれていた「外科事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、従来「その他事業」としていた修理事業を、「歯科事業」、「機工事業」及び「外科事業」のそれぞれの該当する事業に含める方法に変更しております。

上記セグメント区分の変更は第1四半期連結会計期間より実施しておりますが、第1四半期連結会計期間において「歯科製品関連事業」、「工業製品関連事業」及び「サージカル製品関連事業」としていたセグメント名称を、当第2四半期連結会計期間においてそれぞれ「歯科事業」、「機工事業」、「外科事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分及び名称により作成したものを記載しております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方針に比べて、当第2四半期連結累計期間の「歯科事業」の売上高が46,408千円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。